

## 学校再編準備委員会(第3回代表者会議) 結果概要

■ 開催日時 令和7年3月17日(月) 午後6時55分から午後8時35分まで

■ 開催場所 郡山公民館 ホール

■ 出席者 【委員】 11人(1人欠席)

【教育委員会事務局】 6人

参事兼教育政策課長

教育政策課副参事兼政策推進グループリーダー

政策推進グループ (3人)

教育指導課副参事兼研究グループリーダー

■ 傍聴者 0人

### ■ 事項

1 開会(教育政策課長挨拶)

2 各専門部会の主な進捗状況について 資料1

→資料に基づき説明。その後、質疑応答及び意見交換。

《質疑応答、意見交換》

OPTA 部会について

(教育委員会事務局)

- ・ PTA は、保護者と教職員で構成される任意の社会教育関係団体であり、公の支配に属しない団体であることから、第2回の部会以降、10月1日、11月19日、12月12日、1月28日、2月25日に、3校のPTA関係者が集まり、新PTA組織の組織体制や、会則、繰越金の取扱い等について、検討を進めていただいているところである。
- ・ 新PTAの組織体制案としては、これまでの郡山小学校の形態をベースに、それぞれの学校の活動内容を考慮した上で、検討を進めていただき、社会活動部、広報部、安全部という3つの専門部を設ける整理をしていただいている。また、まちづくり協議会等の地区行事の対応についても整理を進めていただいている。
- ・ 「新たな小学校」への繰越金については、1人当たり、6,000円として整理をしていただいている。
- ・ 新PTA組織の体制、会則、予算等の案については、令和7年度の各小学校のPTA総会に諮っていただく予定である。

(参加者)

- ・ 統一することが難しい部分は、地域毎に細則を設ける方向で整理を進めている。

(参加者)

- ・ 可能な範囲で組織の簡素化を図ろうとしている。
- ・ 開校後に、実際に運営していく中で、内容を変えていく部分は出てくると思う。

(参加者)

- ・ CTL 活動はどのようなのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 学校再編に当たり、枠組みが変わってくる部分もあると思う。

(参加者)

- ・ PTA バレーの活動はどのようなのか。

(参加者)

- ・ 郡山小学校にあるサークル活動の枠組みは残そうと考えている。サークル活動として取扱うのかどうかは、協議して決めていくことになる。

○通学・安全部会について

参考資料1-1、1-2

(教育委員会事務局)

- ・ 令和8年4月からのスクールバスの本格運行に向けて、運行ルートや乗降場所について、継続的に議論を行ってきており、第4回の部会では、これまでの取組経緯も踏まえて、運行ルート及び乗降場所の最終案を提示し、意見交換を行った。
- ・ 最終案の整理に当たっては、児童が登校する朝の時間帯に合わせて、交通量の多い道路や交差点の状況、集団登校での様子を確認させていただくとともに、バス車両での試走も行うなど検証を重ねてきた。
- ・ 青ルートの乗降場所について、JA 鈴鹿天名支店が乗降場所となる場合、小学校の前を通る県道を渡ることになるが、この県道は、登校の時間帯、通勤の時間と重なり、交通量が大変多いこと、一方、地域から要望が多かった小学校の運動場を乗降場所とするためには、学校の進入道路が狭いなど、様々な理由を踏まえた上で、JA 鈴鹿天名支店から、現在、天名小学校の学級園として使用させていただいているスペースに変更している。
- ・ 今後の予定については、資料1の2ページ(2)に記載のとおりであり、本格運行に向けて、準備を進めていく。

(参加者)

- ・ スクールバスの運行ルートや乗降場所は最終案の内容で決定なのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 予算の議決を経て、決定となる。

(参加者)

- ・ 乗降場所の集合時間も同様か。

(教育委員会事務局)

- ・ 登下校時の集合時間については、目安であるため、詳細な時間は小学校のカリキュラムと調整を行い、説明会までには確定したいと考えている。

(参加者)

- ・ 曜日や季節等によって、下校時刻が前後することもあると思う。

(教育委員会事務局)

- ・ バス事業者と学校のスケジュールを共有し、事前に調整を図っていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 旗当番の関連があるため、早めに PTA に情報共有をしてもらいたい。

(教育委員会事務局)

- ・ 5月以降、保護者や地域の方を含めて、見守り体制の検討を行っていきたい。

(参加者)

- ・ 乗降場所までの見守り体制も検討していくという認識でよいか。

(教育委員会事務局)

- ・ そうである。

(参加者)

- ・ スクールバスのことが先日の新聞に掲載されていたが、内容はこういったものか。

(教育委員会事務局)

- ・ 議会の委員会で説明を行った、スクールバスの運行方式、予算に関する内容である。

(参加者)

- ・ バス事業者は決まっているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ まだ決まっていない。入札を行い、決定する予定である。

(参加者)

- ・ スクールバスによる登下校に関して、安全面のシステムは導入してもらえるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ システムの導入も含め、保護者や教職員、バス事業者にとって、どのような仕組みが一番良いのかということを検討していきたい。

(参加者)

- ・ 見守り体制の検討には、実際に乗降場所までのルートや登下校の手段を明確にする必要があると感じている。
- ・ 保護者から添乗員や乗降確認の方法に関する声も聞いている。

(教育委員会事務局)

- ・ 学校やバス事業者とも調整を行いながら、検討を進めていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 乗降場所までの通学路は学校が決めるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 基本的には今の通学路がベースになってくると考えている。乗降場所によっては、通学路が現状と異なってくるため、学校と協議していく必要がある。

(参加者)

- ・ 添乗員は必要だと思う。

(教育委員会事務局)

- ・ 添乗員も含め、他市町の事例を参考にしながら、どのような体制が一番良いかを検討していきたい。

(参加者)

- ・ 地域によって異なる部分もあると思う。

(参加者)

- ・ 見守りに関して、教育委員会から職員の派遣はないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 職員の派遣はない。今まで通り、保護者や地域の御協力をいただきながらと考えている。
- ・ 具体的な見守り体制の検討の進め方については、学校と相談しながら決めていきたい。

○跡施設利用検討部会について 参考資料2

(教育委員会事務局)

- ・ 第2回の部会では、基本的な考え方や今後の取組スケジュール、現在教育目的以外で学校施設を利用している開放事業、放課後児童クラブの2事業について、閉校後の取扱いに関する検討状況を担当課であるスポーツ課、子ども政策課から説明をさせていただいた。
- ・ 開放事業については、利用状況を踏まえて、閉校後も当面の間、事業を実施する場を確保していくことが必要であるという考えを示した。
- ・ 閉校後の放課後児童クラブについては、資料1に記載のとおり。
- ・ 第3回の部会では、参考資料2に記載のとおり、令和7年度に予定しているサウンディング型市場調査の実施概要、取組スケジュールや提案内容に盛り込んでいく項目案について、説明をさせていただくとともに、都市計画法等の関係法令の一般的な事項について、確認をさせていただいた。
- ・ 今後は、サウンディング型市場調査の結果を踏まえて、合川小学校、天名小学校のそれぞれで検討内容も異なってくることから、各小学校区における体制等について、関係者と協議をしていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ サウンディング型市場調査の提案内容に盛り込んでいく項目案に、地域への貢献に対する提案とあるが、この内容が盛り込まれていない場合、受け付けないのか。
- ・ 地域は評価に参加できないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ サウンディング型市場調査は事業者のニーズ把握や、利活用における項目毎の考え方を整理するために実施するものである。
- ・ 評価は市が行うことになるが、調査結果は地域に共有し、地域からの意見も参考にさせていただきながら、利用方針の決定に向けて、庁内で検討を進めていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 教育財産の役割が終了すると、教育委員会の担当ではなくなるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 市長部局の関係部署と連携を行いながら、進めていく必要があると考えている。

(参加者)

- ・ 担当課が変更になると違う話になってしまうかが心配である。

(参加者)

- ・ 体育館は災害時の避難所として利用されているが、仮に取壊しとなった場合、その

後のことは考えているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 例えば、避難所や開放事業として体育館を使いたいとなった場合に、どれだけの民間のニーズがあるのか、また、体育館を全部使いたいといった提案もあるかもしれない中で、市としてどうしていくのか、地域の意見を踏まえた上で検討していく必要があると考えている。

(参加者)

- ・ 校舎は絶対に避難所にはならないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 例えば、大きな地震があつて、緊急的な対応を行うことはあるかもしれないが、今の防災計画上は、校舎は避難所には指定されていない。

(参加者)

- ・ 地域に説明を行わないまま勝手に契約を結んでしまうということはないか。

(教育委員会事務局)

- ・ 地域への説明は必ず必要になってくると考えている。

(参加者)

- ・ 閉校後の施設管理は市が行うことになると思うが、除草作業は市が実施するのか。開放委員会のような団体が担うことになる可能性もあるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 開放事業の委託は、地域スポーツの振興のための委託であり、維持管理は施設管理を担う課が行っていくことになると考えられるが、地域に協力いただく部分も出てくると思う。

(参加者)

- ・ 開放事業の業務範囲に関する内容が流れてきていない。

(参加者)

- ・ スポーツ課と情報共有は行っているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 行っている。

(参加者)

- ・ 開放事業に関するスケジュールを示してもらいたい。

(教育委員会事務局)

- ・ 担当課であるスポーツ課へお伝えさせていただく。

○学校運営部会について

(教育委員会事務局)

- ・ 第4回の部会では、主に来年度の検討内容を整理した。また、部会以外にも研修担当が集まって教育内容について検討したり、生徒指導担当が集まって学校の約束について検討したりと「新たな小学校」へ円滑に接続できるよう、準備を進めているところである。
- ・ 来年度は、学習の評価方法や、地域学習のカリキュラム、1人1台配備されているパソコン端末を効果的にどう活用していくか等、3校の担当者が分担して、さらに検討を進めていきたいと考えており、4月4日に3校の教員が郡山小学校に集まり、来年度の学年ごとの児童交流会等について相談を行う予定である。

(参加者)

- ・ 校区外の扱いとは、どういったことか。

(教育委員会事務局)

- ・ 校区外の扱いに関しては、今よりも校区が広がるため、保護者や地域の方の意見を聞いてはどうかといった話が出た。今後具体的に検討していきたいと考えている。

○総務部会について

【閉校式】

- ・ 学校毎に実行委員会を立ち上げていただいて、現在、閉校記念リーフレットと閉校記念行事の内容について、検討を進めていただいている。
- ・ 第6回の部会では、各校の進捗状況を報告していただき、意見交換を行い、お互いのアイデアも参考にしながら、引き続き内容の検討をお願いしているところである。
- ・ 今後は、閉校式実施日の調整と、リーフレットと記念品の作成事業者を入札で決めていく予定である。

【校名】

- ・ 第5回の部会では、様々な視点から協議を行い、子どもたちの意見や考えを尊重したいという意見も踏まえ、「天栄小学校」「鈴南小学校」「鈴鹿南小学校」の3点を最終候補案として選定した。
- ・ その後、昨年12月の教育委員会定例会において、最終候補案3点について、審議を行い、「天栄小学校」を校名案として決定した。現在、開催されている2月定例議会での採決を経て、校名が正式に「天栄小学校」に決定となる。

## 【校歌・校章】

- ・ 第6回の部会では、他市町の事例を紹介するとともに、作成時期や作成方法に関して、開校後に子どもたちが中心となって作成を行い、作曲等、専門的な技術が必要となってくる作業については、専門家へ依頼するという事務局案を提示した。
- ・ 事務局案に賛成の意見や、閉校までは現在の学校の校歌を大切にしてほしい、校歌は開校までに作成を済ませ入学式に披露してはどうか、といった意見をいただいた。
- ・ 校章まで議論を進めることができなかつたため、次回の第7回総務部会において、校歌の作成時期や作成方法等と併せて、検討を進めていく予定である。

### (参加者)

- ・ 令和8年3月31日までは今の校歌を大事にしたいという意見が強かったと思う。

### (参加者)

- ・ 3月31日までは現在の学校の校歌を大事にして、4月1日以降は新しい学校の校歌を歌っていくというところは共通理解ができたと思っている。
- ・ 校歌の作成時期については、3月31日までに作ることが決定したわけではなく、4月1日以降に、子どもたちと協力して作っていくのか、3月31日までに校歌を作っておくのかというところを次回の部会で検討していくことになっていると思っている。

### (参加者)

- ・ 校歌を歌えなくても、テープを流してお披露目するといった方法もある。
- ・ 子どもたちと校歌を作成する場合、3か月、半年程度かかってしまうのではないか。

### (参加者)

- ・ 学校の授業内容が、自分で主体的に考えるといった方向に転換してきているため、3校の子どもたちが集まって、一緒に相談しながら校歌を作っていくのはいいことだと思うので、開校後の作成を希望する。
- ・ 校歌を歌う回数は少なくなるかもしれないが、与えられた校歌より、自分たちで作った方が、愛着が湧くと思う。校歌の作成は子どもたちも楽しいと感じると思う。

### (教育委員会事務局)

- ・ 本日いただいた意見も踏まえ、次回の総務部会で協議を進めていきたい。

## 3 次回の会議について

- ・ 第4回代表者会議の開催日は、各専門部会の開催状況を踏まえつつ、後日、日程調整を行う。

## 4 閉会

以上